

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)

【公開番号】特開 2019-165860 (P2019-165860A)  
 【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-040  
 【出願番号】特願 2018-54609 (P2018-54609)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 17 日 (2019.9.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

識別情報の可変表示に対応して可変表示を行う装飾情報と、

識別情報の可変表示に対応して可変表示を行うとともに、前記装飾情報と異なる対応情報と、

識別情報の可変表示が開始されることに関連して特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、を備え、

前記特定演出が実行される場合に、前記対応情報の可変表示は識別情報の可変表示の開始に対応して開始される一方で、前記装飾情報の可変表示は識別情報の可変表示の開始に対応して開始されず、

少なくとも前記対応情報と前記装飾情報のうち、前記装飾情報の方が可変表示の際の動作が大きい、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

手段 A の遊技機は、識別情報の可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

識別情報の可変表示に対応して可変表示を行う装飾情報と、

識別情報の可変表示に対応して可変表示を行うとともに、前記装飾情報と異なる対応情報と、

識別情報の可変表示が開始されることに関連して特定演出を実行可能な特定演出実行手段と、を備え、

前記特定演出が実行される場合に、前記対応情報の可変表示は識別情報の可変表示の開始に対応して開始される一方で、前記装飾情報の可変表示は識別情報の可変表示の開始に

対応して開始されず、

少なくとも前記対応情報と前記装飾情報のうち、前記装飾情報の方が可変表示の際の動作が大きい、

ことを特徴とする。

さらに、手段 1 の遊技機は、識別情報の可変表示（例えば、特別図柄）を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り状態）に制御可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

識別情報の可変表示に対応して可変表示を行う装飾情報（例えば、飾り図柄）と、

識別情報の可変表示に対応して可変表示を行うとともに、前記装飾情報とは異なる対応情報（例えば、小図柄）と、

識別情報の可変表示が開始されることに関連して特定演出（例えば、予告演出）を実行可能な特定演出実行手段（例えば、演出制御用 CPU 120）とを備え、

前記特定演出が実行されるときに、前記対応情報の可変表示は前記識別情報の可変表示の開始に対応して開始される一方で、前記装飾情報の可変表示は前記識別情報の可変表示の開始に対応して開始されない（例えば、図 8 に示すように小図柄の可変表示は特別図柄の可変表示に対応して開始される一方で、予告数が 2 以上の飾り図柄の可変表示は特別図柄の可変表示から 500ms 遅れて開始される）。